

みどりの大使が行く!

皆さん、こんにちは！
2024ミス日本みどりの大使の安藤きらりです。
3月に山梨県へ、視察に行かせていただきました。林業の流れが理解できるように、川上から川下の順番に見せていただき、大変わかりやすかったです。



2024ミス日本みどりの大使
安藤 きらり

カラマツの苗木生産

まずは、富士吉田市にて苗木生産を行っている明見緑化様を訪れました。巨木に成長している木も、元を辿ると種があります。まず初めにその種を見せていただきました。大きな木の種なので、きつと手のひらくらいのサイズだろうと思っていましたが、実際のカラマツの種は、爪よりも小さくてとても驚きました。そして、種を採取する過程も教えていただきました。カラマツの種は松ぼっくりの隙間から採ることができます。1つの松ぼっくりから全ての種



松ぼっくりから効率的に種を採る

現場で進む林業の機械化

を採るために、水をかけたり温度を変え、更に揉んだり、手作業で種を採る大変さがわかりました。

次に、北杜市大泉町の天女山様にお邪魔しました。こちらでは、造林、伐採、地域材利用、環境保育などを行っています。林業現場では、ドローンや高性能林業機械に触らせていただきました。ドローンは、上空150m程まで飛び、森林の状態を知ることができます。人手で行ってきた資源調査は、ドローンの登場でとても効率的に



高性能な機械の操縦を体験

木材をカツラ剥きに

なったと伺いました。更に高性能林業機械の一つであるフェラーバンチャに乗らせていただきました。普通自動車以外の機械を運転でき大興奮でした。木を運搬するだけでなく、木を切ることもできる高性能の機械、そしてプロの操縦技術を目の前で見ることができました。

その後、山梨県南部町にある南部町森林組合を訪問しました。敷地内には大量の丸太が積み重ねられていて、壮観でした。木の大きさを機械で自動的に判定し、選別する様子や、JAS規格に基づき木の格付けをしている様子を見て、機械化のメリットを感じました。



背の高さまで積み上がる丸太



丸太のカツラ剥きを見学

最後に、キータックの山梨工場にて合板製造の現場を見学しました。驚いたポイントはいくつもありますが、大きな木の丸太を薄い板にするのに「大根のカツラ剥きのように」剥くという表現がとてもわかりやすく、しっくりきました。工場は機械が活躍しており作業の早さに驚きました。カツラ剥きもあつという間に終わり、数えきれないほどある丸太が一瞬にして薄い板に変身しました。

林業の魅力を発信します

今回の林業視察を通じて、木を守るためにとても多くの人々が関わり、技術を磨き、時間を使っていると再認識しました。これからもみどりの大使として、更に知識を深め、林業というお仕事の魅力発信していきたいと思います。
林業視察をサポートしてくださった皆様、ありがとうございました！